

## LEQ 集団活動プログラム《壁面制作》

タイトル	壁面制作
大ジャンル：	制作
中ジャンル：	表現
小ジャンル：	切り絵・塗り絵
使う道具：	ハサミ・色鉛筆・画用紙
場所	室内
人数	1-9
内容	毎月季節に応じた切り絵や塗り絵などを制作する表現力と集中力を高めることをめざすプログラム

### 5 領域

健康・生活	運動・感覚	認知・行動	言語・コミュニケーション	人間関係・社会性
		○	○	○

### 【流れ】

時間	内容	児童の予想される行動	支援員の動き
00:00	活動の始まりの挨拶 「今から活動を始めます。 礼」 その後制作物の作り方を説明	姿勢の維持ができているか 挨拶時は正座 説明している最中に色鉛筆 やハサミを触る	挨拶の際は膝に手を置く ように声を掛ける。 色鉛筆は合図があるまで は開かないように声掛け を行う。
05:00	制作を始める。 1枚が完成した児童から2枚 目、3枚目と制作する。 終了5分前には後5分であるこ とを伝える	私語をしていないか ハサミの危ない使い方をして いる児童がいないか (振り回す・うまく使えない ・切れない等)	私語などその都度声を掛 ける。 ハサミの使い方がわから ない・難しい場合は一緒に 切るまたは代わりに切る などのサポートを行う。
17:00	制作を終わる 時間に余裕があれば制作した ものをみんなでみて行く	手を止めずに制作を続け る。 終わった児童から片付けな どをしてもらうがその際に 私語を行わないか	切りの良いところで手を 止めるように伝える。 次回も続きができること を伝えて裏に名前を書い てもらう。

20:00	活動の終わりの挨拶 「これで活動を終わります。 礼。」 色鉛筆やハサミ、のり、作り かけの制作物、完成品を回収 して貼り付け。	挨拶時の姿勢の維持ができて いるか。 制作物に触っていたり、色 鉛筆やハサミを使っていた りしないか。	制作物の続きは活動後も 行いたい場合は行っても 良いことを伝える。 色鉛筆やハサミは触らな いように声を掛ける。 挨拶時には正座をするよ うに声を掛ける。
-------	--	---	---

### 【実施のポイント】

- ・ 児童の興味関心が持てるように声掛けを行う  
→飽きることのないように色やパターンをいくつか準備する
- ・ 児童のスキルに合わせて準備を行う  
→小さいものなど低学年児童が切ることが難しいものは事前に切ったものも準備しておく  
など
- ・ 事前準備と確認の徹底  
→制作物が足りなくなることがないように余分に制作して準備しておく

### 【アレンジパターン】

- 1、色や型紙を数パターン用意する。  
→違う色や違うものを用意することで児童が飽きずに集中力を維持できるようにする為
- 2、毎年のパターンを変える  
→壁面のリニューアルを行い見栄えの印象を変えたりすることで児童の興味関心を引き出す。